

おめでたい
おめでとう
おめでとう

編集者・ノンフィクション作家

伊丹十三賞 スイッチ・パブリッシング代表 新井敏記代

山陽堂での展示イベントで、いつも世話になっておる雑誌 Switch や Coyote などを出版されている新井敏記代が伊丹十三賞を受賞されました。この賞は、テレビ・ラジオ・俳優・エッセイ・テレビマン、雑誌編集長、映画監督... さまざまな分野で才能を発揮し、常に斬新。しかも本格的であった仕事において、時代を切り拓く役割を果たした伊丹十三の遺業を記念して創設され、あらゆる文化活動に興味が持ちつづけ、新しい才能にも敏感であった伊丹十三が、「これはね、たまたまもんた」とか「りまらね」とか言ってきたから膝を叩いたであろう人々の作品に授けられるという。伊丹十三記念館HP

これまでの受賞者は、コロウダ-系井重里代、タモリ代、内田樹代、アトリエリッ-森本千絵代、池田一太郎代、リリ-ランキ-代です。

伊丹十三記念館HP

<授賞理由> 十代から自主制作の雑誌をつくりはじめ、つくりたい雑誌のためにみずから出版社を立ち上げ、以来30年におたり「スイッチ」をはじめとする雑誌、書籍を手かけ、維持発展させてきた経営手腕、編集手腕にあり。

木村伊兵衛賞 写真家 川島小鳥氏

2011年6月3日からのファミリー山陽堂カウントダウンを飾ってくれたのは写真家川島小鳥さんの「未来ちゃん」(ナナロク社)の写真です。川島さんは第40回木村伊兵衛賞を台湾という場所ですらに居る人たちに見せられた三年間撮りつづけた写真集「明星」で受賞されました。木村伊兵衛賞は、朝日新聞社が創設した、優れた作品を発表した新人写真家と文筆家として「写真界の芥川賞」とも称されるものです。(参考ナナロク社HP)

～ 安西水丸展 Gallery Note から ～

2015.3.18 ~ 3.31 (延長1244)

- ・ 27日(土)朝、村上春樹さんの期間限定サイトと毎日読むのを楽(おもしろ)くして安西水丸さんのことよく話題になっていた。安西さんの絵が見たい!と熱望しておりました。そんなわけで、今日また表参道に来てこの素敵な展覧会を見つけ感激しています。
- ・ 山陽堂さんのトークショーあと水丸さんの御本に描いていただいたエンパイヤビルとキングコングの絵、一生の宝物です。
- ・ So cute & reminded me my childhood memory.
- ・ 水丸さんの絵が見たくて会社休んできました。早くこの展覧会です。
- ・ W座の映画評とちぎれ(おもしろ)くエロチックなシーンも実に柔らかく可愛いらしく(?) 描かれていてはるか昔の気分です。今も生き生きとしたお姿が鮮やかに残っています。
- ・ 始め電車と灯台の絵が強烈でした。それから降りてきて、ハッと目に入ってきたテラコッタ(のび)の青とガラス器の日光、ハッパシ、手縫い糸... 私の日常のそと-7. 生かしてこうかい。(中略) また日常が大切にになります。